

[成果情報名] シートマルチ栽培ウンシュウミカン「長崎果研させぼ1号」の収穫時L～S級果になる果実肥大期の目安横径

[要約] シートマルチ栽培ウンシュウミカン「長崎果研させぼ1号」において果実肥大率をもとにした収穫時L～S級果になる果実横径の目安値は、8月1日が34.2～45.4mm、9月1日が41.2～54.7mm、10月1日が48.7～64.7mmである。この目安値の的中率は、約70%以上と高い。

[キーワード] シートマルチ栽培、ウンシュウミカン、長崎果研させぼ1号、目安横径

[担当] 長崎県農林技術開発センター・果樹・茶研究部門・カンキツ研究室

[連絡先] (代表) 0957-55-8740

[区分] 果樹

[分類] 普及

[作成年度] 2024年度

---

### [背景・ねらい]

ウンシュウミカン「長崎果研させぼ1号」は、「させぼ温州」の珠心胚実生であり、「させぼ温州」より着果性、商品性が高いことが報告されている。しかし、肥大の目安値など栽培管理の指標等は明らかでない。そこで「長崎果研させぼ1号」の収穫期にL～S級果となる果実肥大期の目安横径を明らかにする。

### [成果の内容・特徴]

1. 「長崎果研させぼ1号」と「させぼ温州」との横径の推移に大きな差は見られない(図1)。
2. 「長崎果研させぼ1号」の果実肥大率は「させぼ温州」の肥大率と大きな差が見られない(表1)。
3. 得られた「長崎果研させぼ1号」の果実肥大率をもとにした収穫時L～S級果になる目安横径は、8月1日が34.2～45.4mm、9月1日が41.2～54.7mm、10月1日が48.7～64.7mmである(表2)。それぞれの目安横径の的中率は約70%以上となり精度は高い(表3)。また、この目安横径は「させぼ温州」とほぼ同様である(データ省略)。

### [成果の活用面・留意点]

1. 「長崎果研させぼ1号」のシートマルチ栽培(7月下旬から8月上旬に樹冠下全面被覆圃場)で8月以降の摘果指標として活用できる。
2. 場内に植栽された「長崎果研させぼ1号」(1999年植栽で高接ぎ後3～5年生及び8年生樹)「させぼ温州」(16～19年生樹)の2015～2017年、2024年の肥大測定の結果を用いた。
3. 肥大率は収穫日の果実横径を調査日の横径で除した値。
4. 精度の評価には2023年場内に植栽された「長崎果研させぼ1号」(7年生)のデータ(42果)を用いた。的中率は以下の式で算出。

$$\text{的中率} = \frac{\text{予測の的中数}}{\text{評価に用いた数(42果)}} \times 100$$

[具体的データ]

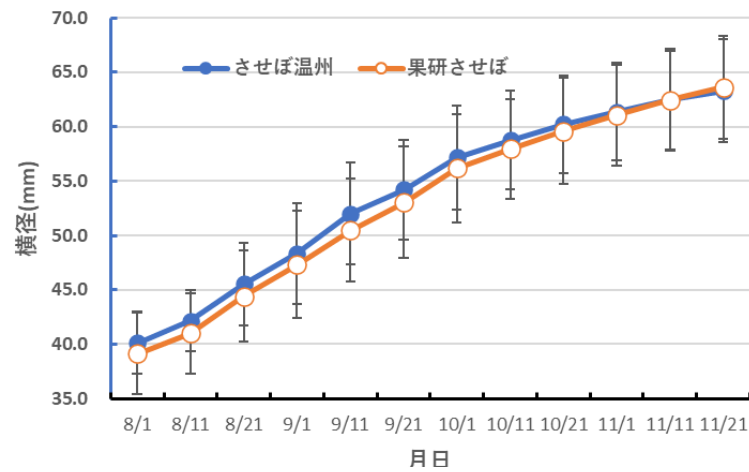


図 1 「長崎果研させぼ 1 号」「させぼ温州」の果実横径の推移

表 1 「長崎果研させぼ 1 号」「させぼ温州」の果実肥大率の推移

|       | 8/1  | 8/11 | 8/21 | 9/1  | 9/11 | 9/21 | 10/1 | 10/11 | 10/21 | 11/1 | 11/11 | 11/21 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|
| 果研させぼ | 肥大率  | 1.61 | 1.54 | 1.42 | 1.33 | 1.25 | 1.19 | 1.13  | 1.09  | 1.06 | 1.04  | 1.00  |
|       | 標準偏差 | 0.14 | 0.11 | 0.07 | 0.07 | 0.06 | 0.05 | 0.04  | 0.03  | 0.03 | 0.02  | 0.00  |
| させぼ温州 | 肥大率  | 1.58 | 1.50 | 1.39 | 1.31 | 1.22 | 1.17 | 1.11  | 1.08  | 1.05 | 1.03  | 1.00  |
|       | 標準偏差 | 0.10 | 0.08 | 0.07 | 0.07 | 0.06 | 0.05 | 0.04  | 0.03  | 0.02 | 0.02  | 0.00  |

肥大率：収穫日の横径/測定日の横径

表 2 「長崎果研させぼ 1 号」の収穫時 L～S 級果になる目安横径(mm)

| 収穫時階級 | 8/1  | 8/11 | 8/21 | 9/1  | 9/11 | 9/21 | 10/1 | 10/11 | 10/21 | 11/1 | 11/11 | 11/21 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|
| S下限   | 34.2 | 35.8 | 38.7 | 41.2 | 44.0 | 46.2 | 48.7 | 50.3  | 51.6  | 52.9 | 54.1  | 55.0  |
| ┆     | ┆    | ┆    | ┆    | ┆    | ┆    | ┆    | ┆    | ┆     | ┆     | ┆    | ┆     | ┆     |
| L上限   | 45.4 | 47.5 | 51.4 | 54.7 | 58.4 | 61.4 | 64.7 | 66.8  | 68.5  | 70.3 | 71.8  | 73.0  |

収穫時 S 級果下限：55mm L 級果上限：73mm

表 3 「長崎果研させぼ 1 号」の収穫時 L～S 級果になる目安横径の精度評価

|         | 8/1  | 9/1  | 10/1 |
|---------|------|------|------|
| 的中率 (%) | 73.8 | 73.8 | 85.7 |

収穫時S級果下限：55mm L級果上限：73mm

[その他]

研究課題名：A I 技術を活用した長崎ブランドミカン安定供給技術の開発  
予算区分：県単（経常研究）  
研究期間：2022-2024 年度  
研究担当者：中里一郎、一川さつき